



2026年 8 月13日

各 位

会 社 名 株式会社リブ・コンサルティング
代表者名 代表取締役 関 厳
(コード番号：480A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 中川 貴裕
(TEL 03-6281-9596)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 13 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 2 月 13 日の 2025 年 12 月期の期末決算発表時に開示した 2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	売 上 高	EBITDA	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,086	1,217	1,111	1,113	721	108.81
今回修正予想（B）	7,168	989	876	881	583	88.04
増 減 額（B－A）	81	△227	△234	△232	△137	△20.77
増 減 率（ % ）	1.2	△18.7	△21.1	△20.9	△19.1	△19.1
（ご参考）前期実績 （2025 年 12 月期）	6,109	944	839	830	510	99.63

（注）1. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

2. 1 株当たり当期純利益の算定にあたり、期中平均株式数は 2026 年 12 月期通期 6,629,869 株、2025 年 12 月期通期 5,128,493 株を使用しております。

3. 増減額および増減率は、円単位の実数を基に算出し、表示単位未満の端数を切捨てで算出しております。

2. 修正の理由

当連結会計年度におきましては、上半期の業績は概ね計画どおり順調に推移しております。一方で、足元の事業環境においては、企業における AI 実装支援に対する需要が想定を上回る速度で急拡大しております。

当社グループは、この高まる AI 変革需要を確実に取り込み、2027 年以降の成長速度を高めるための経営判断として、当初予算を上回る規模で下半期に成長投資を積極的に実行する方針を決定いたしました。短期的には利益水準に影響が生じるものの、本投資による将来の市場ポジションの確立が、中長期的な株主価値の向上に資するものと判断しております。

具体的には、当社の次代の競争優位性を確立するための戦略的先行投資として、下半期において以下の施策に資金を投下してまいります。

(1) AI 関連人材への人的資本投資の強化

将来の成長を牽引する AI 関連人材の採用を、当初計画を上回る規模で強化いたします。

それに伴う人件費約 120 百万円および各種採用強化施策を含む採用関連費用約 100 百万円を計上いたします。

(2) AI インフラ投資の実行

今後の AI 関連事業推進の基盤となる、社内および顧客支援用 AI インフラの強化のため追加で約 15 百万円の投資を実行いたします。

(3) 将来成長に向けた基盤整備

今後の非連続な成長を見据えた M&A に向けた各種準備費用等約 15 百万円を見込んでおります。

これらの結果、当連結会計年度の通期業績見通しにつきましては、既存事業が牽引し売上高は前回発表予想を上回る見通しであるものの、下半期における上記の投資に加え、採用が当初計画を上回って進捗していることに伴う人件費の増加等により、EBITDA、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想を下回る見込みとなりました。今回の利益予想の減額は、採用関連費用等の一時的な費用および将来の成長に向けた先行的な投資・人材確保によるものであり、来期以降の持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に資するものと考えております。

なお、本件に関する詳細な背景や投資の具体的な内容、および中長期的な業績への貢献方針につきましては、2026 年 8 月 20 日開催予定の決算説明会においてご説明申し上げる予定です。

(注意事項) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上